

## 平成27年度第9回宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画策定審議会議事録(要点筆記)

平成 27 年 8 月 4 日(火) 19:00～21:00

宗像市役所 第 2 委員会室

### ■出席者

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
◎池添 昌幸	出	○前田 誠	出	牧 敦司	出
南 博	出	横山 麻季子	出		

◎印は会長、○印は副会長

①池添 ②前田 ③牧 ④南 ⑤横山

### 1. 開会

- ・ あいさつ
- ・ 進行を会長へ

### 2. 報告・確認事項

- ・ 報告資料 1、2-1、参考資料 2-2 説明
- ・ 報告資料 3、4 説明
- ・ ①何かあればご意見いただきたい。
- ・ 全員：特になし
- ・ ①評価区分について庁内で「適正化」という表現で良いということになったのか。「規模の適正化」でなくても良いのか。  
→規模の適正化とすれば、維持更新計画の記述に基づくと「現状維持」が「規模の適正化」の評価に変わるものが多くでてくる。元々記載していた縮小化という表現から適正化に表現をとどめた。
- ・ ④フロー図はわかりやすくなっている。「譲渡解体時期の仮決定」の矢印が下のボックスにも伸びているので、更新改修費用、更新改修時期には「等」を加えた方が良い。  
→そのように対応する。
- ・ ①4 ページの②について、ランク A、B で 30 年以内に更新予定の施設は改修しないとなっているが、理由を説明してほしい  
→ランク A、B の施設は 15 年以降に改修となり、30 年以内の更新であると残りが長くて 15 年となるため、改修はしないことにしている
- ・ ⑤3 ページの①について、評価欄の○×は評価を実施しているか否かを記載していると思うが、「評価」という表現では誤解を招くので、「評価の実施有無」とした方が良い。  
→そのように修正する。

- ・ ①報告資料4の修正内容は、単価設定の変更で良いか  
→その通りである。

### 3. 審議事項

- ・ 審議資料5、6 説明
- ・ ①フローに基づいて決められているものはいいが、政策的判断に基づいて維持更新計画が決められているものについてまず説明をしてほしい。  
→学校について、学校の計画をすり寄せた。スポーツ施設についても同様にすり寄せた。
- ・ ①具体的に学校のどの施設について政策的判断を行ったのか。  
→河東小学校はDランク判定であったが、城山中学校が1期更新の予定で既に話が進んでいたため、その後の更新とし、2期更新となっている。市営住宅も長寿命化計画を踏まえ変えており、宗像ユリックスも毎年同額の費用を計上することで担当課と調整した。  
学校については、政策的判断というよりは財政見通しに基づいて行っている。  
スポーツ施設、コミュニティセンター、観光施設だけが政策的判断をする施設で、今回はスポーツ施設のみが該当している。学校は総合的判断に基づいて更新、改修時期を検討した。
- ・ ③スポーツ施設について、解体の費用がかなりかかっている。そのことを指摘されないか。2021年に3施設が解体となっているが、新しい施設ができるのに合わせて解体するというのでいいのか。評価区分として「民活化」があるにもかかわらず、維持更新計画では明確にその評価をうたっている施設がないが、このままでいいのか。  
→総合スポーツセンターの建設はいったん白紙に戻った。B&G海洋センター体育館は一定期間残すということを説明していたため、解体期間に猶予をもたせているが、他の施設は新規施設の建設にあわせて、解体することとしている。解体単価は平成24～26年度の市の実績値を採用している。今回の計画で明確な集約化を位置付けているのはスポーツ施設だけであり、他の施設についても1期5年以内に一定のプロセスを経た上で集約化、複合化、民活化につて結論を出して、計画の見直しを行う。現在は、まだ検討部分がある中で維持更新計画に反映している状況である。
- ・ ④スポーツ施設については、新たな総合体育館を建設する中で既存の施設を集約化するとしていたため、すべて解体となっている。白紙となった中で、このことについてはこの場で議論できないのではないか。
- ・ ③民活化というメニューを残しておくという理解でいいのか。施設を使いたいという民間が表れたら民活化ということになるのか。民活化の文言がでてくるのが市営住宅の表の欄外の※の部分だけである。他の施設もその可能性があるのであれば※を記載する必要があるのではないか。また、市営住宅の欄外の※の「民活化、集約化を含め

た複合化」という文言は適切ではないのではないかと。読み違いをする人もいるので、記述には気をつけた方がよい。「民活化」という表現は様々な自治体でもつかわれているが、今後言葉を使う上で、何を示しているのか整理した方がよい。

→欄外の文言は見直す。学校、市営住宅については、ほとんど現状維持で評価されており、用途分類別方針に基づかないので※で欄外に記述した。他にも整合が取れていない箇所があるため、わかりやすい表記について再検討させてほしい。用途分類別方針に記載した内容については、すべての欄外に記載する。

- ・ ①用途分類別方針についてすべて欄外に記載するとすると、維持更新計画を細かくつくる意味がなくなってしまうのではないかと。
- ・ ②城山中学校は現地での建て替えは不可能となったが、この費用の中にすべて含まれているのか。  
→解体費用は含まれている。移転が決まっているわけではないので、用地売却費用等を含めていない。
- ・ ③アセットマネジメント計画を立案しなかったら今後どうなるのかについての説明は計画の最初に記載しているのか。これをこのように整理したらこういう成果がでたということをお知らせできるようにした方がよい。
- ・ ①全体像の話についてどこにどう記載するのか、検討が必要である。  
→維持更新計画の作成においては、投資可能な事業費に収めることが大前提であった。ポイントについては計画書に記載する。
- ・ ③このままでは公共施設・インフラの維持管理できなくなるという中で、圧縮により投資費用の中におさめられている。ただ、圧縮できたらできたと、もっと絞れるのではという話がでてくる可能性もある。例えば、宗像市は適正に更新しつつ、状態のいい建物を使い続けられるという整理を行うなど、説明できるようにした方がよい。
- ・ ①更新費用がどう圧縮されたのかについては、現状の費用をそのままかけつづけるとどうなるのか、それがどう削減されたのかという記述にしてはどうか。  
→記述方法については検討する。

#### 4. その他

- ・ ①答申案説明
- ・ ④留意事項の一つ目の居住誘導の話であるが、現実的に宗像市で進めていけるのかどうか。都市 MP や総合計画に集約化、コンパクト化という方向性は示されているのか。  
→都市 MP や総合計画にもその考えは示されている。居住誘導という点では、立地適正化計画の策定を予定している。
- ・ ①コンパクトシティを本当にやるかどうかは協議が必要である。
- ・ ①居住は施設だけで考えるのではなく、福祉施設を住宅と連携して建設するなど、施設と居住を一体として居住施策を考えることも盛り込みたいと考えている。

- ・ 集約化のあとに、交通の便の確保という文言が必要である。不便な場所に立地している施設も多く、交通の便を確保することは大切である。施策、居住に加え、交通もセットではないか。
- ・ 次回は9月8日（火）午後7時から開催する。